

永盛 肇 名誉教授を偲んで

ベレー帽の恩師との思い出

沖縄市 三愛眼科 副院長
鯉 淵 浩 (3期生)

永盛先生、そちらでは福田先生（元眼科教授、病院長・故人）と今夜もお酒飲んでいらっしゃいますか？

平成22年2月17日、先生の訃報に接した時、いつかはと覚悟はしていたものの、とても悲しく、そして寂しく、泣きました。

2期生として入学した私たちの学年主任が永盛先生でした。この2期生は型破りな学生が多く先生にはたいへんなご苦労があったことでしょう。私たちが先生と初めて親しく会話をしたのは1年生の7月上旬、多野岳で行われたエクスカージョンの時でした。夕食のバーベキューの後、和室の宴会場で大鶴先生（初代医学部長）は私たち2期生に対する期待を、永盛先生は医学生になった自覚を持つようにとお話をされました。懇親会が始まると男子学生3名がセーラー服姿で登場し教官の方々にビールをお酌して回りました。永盛先生は複雑なお顔をされていました。数年後、専門に進級した2期生は記録的な大量の留年者（私もその一人）を出しました。

先生は、写真部の顧問をされていました。私も写真部に属していて法医学教室の暗室に毎日のように通っていました。法医学教室は学生にとって居心地が良く、多くの学生が屯し学内のうわさ話をよくしたものです。

眼科に進んだ私には先生と琉大法医学教室の業績を語る事はできません。先生は絵がとてもお上手で芸術家でもありました。先生が那覇市で開いた展覧会「ピエンナーレ」には何回か行きました。また先生がイタリアと留学先スコットランドで近年お書きになった絵のカレンダーは2009年12月までの数年間、私の職場の医局を飾っていました。

先生は福島へもどられてからも病院長などをされご活躍していらっしゃいました。一度、福島へ仕事で訪れた際に先生の病院へ伺いました。意外に質素な院長室でした。

「院長回診はされるのですか？」との問いに「しねェ〜。聴診器はそこにあっけど〜、ホコリかぶってんな〜」とお答えになりました。

2007年秋、東京の福田元眼科教授のご自宅におじゃましました。その際に福田先生の奥様と永盛先生の話になり、福島へ電話をしました。そこで私は先生が肺癌になられたことをご自身から知りました。ヘビースモーカーだった先生は「俺ぐらいタバコ吸うと癌細胞もニコチンで死ぬんだ」と以前おっしゃっていました。先生の肺癌は扁平上皮癌ではなく小細胞癌だったのですね。その時の会話が先生との最後になりました。

私は50歳になりました。もうしばらくこちらで臨床医を続けます。そしてその時が来たら……永盛先生、福田先生とまた3人でお酒飲みましょう。



永盛 肇教授 近影

〔本務略歴〕

- 昭和29年3月 福島医科大学卒業
- 昭和30年3月 福島医科大学助手（法医学）
- 昭和31年7月 医師免許証下付（医籍登録番号第159, 143号）
- 昭和31年10月 福島県伊達郡霊山町国保診療所長
- 昭和36年3月 医学博士（福島医科大学）
- 昭和36年5月 福島医科大学助手（法医学）
- 昭和37年2月 福島医科大学講師（法医学）
- 昭和38年4月 福島医科大学助教授（法医学）
- 昭和51年6月 沖縄県警察本部法医学顧問（昭和52年まで）
- 昭和57年1月 沖縄県警察本部法医学顧問（同年3月まで）
- 昭和57年4月 琉球大学医学部教授（法医学）
- 昭和58年10月 琉球大学評議員（昭和60年まで）
- 昭和62年4月 琉球大学医学部長（平成3年まで2期）
琉球大学評議員（同上）
- 平成4年11月 琉球大学附属図書館長（平成6年まで）
琉球大学評議員（同上）